

各位

「ESG データブック 2025」の一部訂正について

2025年9月10日に公表しました「ESG データブック 2025」につきまして、掲載内容に下記の誤りがありましたので、訂正いたします。

なお、当社ウェブサイトに掲載している内容は、訂正済みのファイルに差し替えております。

ページ	記載内容	正	誤
3	事業活動における水資源投入量と排水量、水消費量 水資源投入量、排水量、水消費量の単位	千m ³	km ³
11	従業員の新規雇用と離職（地域別） アジア・オセアニア（フィリピンを除く） 北米・欧州、南米の注釈部分	※3 アジア・オセアニアは中国・台湾・韓国・タイ・ベトナム・オーストラリア（ベトナムは2022年度～） ※4 北米・欧州はカナダ・米国・オランダ ※5 南米はペルー・チリ・ブラジル	※3 アジア・オセアニアには、中国・台湾・韓国・タイ・ベトナム・オーストラリアを含む（2024年度） ※4 北米・欧州には、カナダ・オランダ・米国を含む ※5 南米には、ペルー・チリ・ブラジルを含む
28	カーボンニュートラル社会への貢献 低炭素製錬技術の開発（2024年度実績）	①還元挙動の理解を深めるラボスケール試験を計画通り実施	①小規模試験による還元挙動の知見深化
	カーボンニュートラル社会への貢献 低炭素貢献製品の開発と供給（2024年度実績）	①計画通りに開発に着手 ②おおむね計画通りに開発が進捗	①水素製造触媒材料の開発に着手 ②ラボスケールで高生産性晶析プロセスにより目標の小径粒子を合成
29	人的資本経営 健康リスクのある作業場数（2024年度実績）	2作業場 （内訳 第三管理区分：0 第二管理区分：2）	5作業場 （内訳 第三管理区分：0 第二管理区分：5）
	人的資本経営 男性育児休業取得率の注釈部分	※4 育児・介護休業法による育児休業および育児目的休暇の取得率。当社の育児目的休暇は有給で最大9日間利用可能（配偶者出産に伴う入院時・出産時の付き添いに加えて、退院日から連続7日間または里帰り出産から自宅に戻った日から連続7日間）	※4 育児・介護休業法による育児休業および育児目的休暇の取得率。当社の育児目的休暇は有給で最大9日間、配偶者出産に伴う入院時・出産時の付き添いに利用可能。加えて、退院日から連続7日間または里帰り出産から自宅に戻った日から連続7日間取得可能

以上